

◆攻撃方法

優先行使度	部位	名称	範囲	ダメージ
6	頭	コオウ	任意の高度2つ	人間性-2
ガイアの深奥に届くような雄叫びは、戦の先触れとなる。彼らにとって、ラウドとは決して単なるノイズではない。この攻撃を受けたハンターは次のラウンド、マテリアルをコストにした攻撃スキルを使用できない。				
3	任意の腕	カイリキランシン	高度2または高度3の任意のエリア	3
山塊が如き肉体から繰り出される至高の連撃。戦士として卓越した技量を前に、心折れた者は幸いである。それは死ぬことなく、力量の差を認識できたことに他ならないのだから。この攻撃を受けたハンターは次のラウンド、得るAPが半分になる。				
1	任意の棍棒	キョウテンドウチ	任意の高度全て	5
両手に携えた棍棒による、横薙ぎの一閃。それは巨軀に見合わぬ精緻な軌道でハンターへと迫り来る。アシュラ型と相対した者は皆、彼らがまごうことなき一流の武人であると知るだろう。				
2	任意の棍棒	ガイシュウイッショク	残っている「棍棒」の数の、任意のエリア	4
それは武の達人のみがなせる死の旋風。常人の身には到底辿りつけない真の奥義である。この世界における「技」とは、決してハンターのみに許された特権ではないのだ。この攻撃が命中したとき、全ての棍棒が残っているなら、与えるダメージを+5。				
4	胴	イフウドウドウ	正面	人間性-3
マテリアルの鎧が、その肉体をより堅牢にする。ハンターが挑むものはコロッサルだけではない。具現化された岩塊ごと撃ち抜かねばならない。この攻撃が命中したとき、次のラウンドでアシュラ型が受けるダメージを半分にする。				
5	いずれかの脚	ドハツショウテン	高度1または高度2の任意のエリア	3
大地を踏みしめた瞬間。地鳴りが響き大地が裂け、天高く火柱が噴き上がる。渦巻く灼熱が、狂乱と共に戦場を襲う。この攻撃は対象のエリアに存在する設置の効果を無視する。				

□運用指針

アシュラ型はコロッサルでありながら人間のような姿を持つ特異な存在だ。それ故か、固体ごとの習性に大きな差が見られる。人類に対して自らの力を誇示するように大規模な集落を優先して狙う個体もあれば、自らの研鑽を望むかのように秘境を放浪する個体も目撃されている。だが、いずれのアシュラ型も、血沸き肉踊る戦場を求めていることに疑いの余地はない。彼らがハンターと遭遇した時、取る行動は一つである。

取得ExP

PC一人につき20点

◆耐久力 2人/3人/4人

部位	外殻	コア
頭	80/120/160(M)	160/240/320(M)
一対の上腕×2	90/135/180	60/90/120(S)
一対の下腕×2	90/135/180	60/90/120(S)
棍棒×2	150/225/300(露、G)	
胴	40/60/80(C)	40/60/80(C)
脚×2	80/120/160(G)	50/75/100

◆牽制攻撃

名称	範囲	ダメージ
カタクノサカイ	任意のエリア2つの全ての高度	2
大地より吹きあがる溶岩は、天災というべき殺意である。この攻撃は、命中の成否にかかわらず、対象のエリアにある設置を全て破壊する。		
タンヤケンマ	高度1全て	人間性-1
怪物は、本能によって得物をクラフトする。見る間に武器が輝きを取り戻す光景に、ハンターは無力を思い知るだろう。この攻撃が使用されたとき、部位の状態に関係なく棍棒と付く部位1つの耐久力が5.0点回復する。		